

平成28年度 第6回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成28年11月17日（木）午後3時30分～午後5時20分

【開催場所】

用瀬町民会館 2階大会議室

【参加者】

出席委員 谷村萬吉、西川功美、平井育子、谷口芳幸、谷本由美子、西村繁榮、岸本美鈴、山下ゆかり、中村史生、亀谷幸子、福山裕正 以上11名（敬称略）

関係課 なし

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、坂本産業建設課長、谷口市民福祉課長、金谷地域振興課主幹

傍聴者 なし

【次第】

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題・報告事項

（1）新市域振興ビジョン推進計画の進捗状況について

（事務局 資料に基づき4ページまで説明）

（委員1）

用瀬山系トレイル交流大会は、実施時期など今後の予定はどのように考えているのか。

（事務局）

実行委員会では、ミツバツツジの時期である4月の第3週から第4週辺りに、毎年定例的に実施することを考えております。

（委員2）

避難小屋の整備はどの程度進んでいるのか。

(事務局)

洗足山～三角山の縦走ルートの距離が長いので、その間に2棟の避難小屋の整備を計画しており、今年度まず1棟の整備を進めています。

(委員3)

先日、用瀬グリーンツーリズムの会で、ツツジが咲くころに、一ノ谷公園と愛宕山公園でぼんぼりによるライトアップをしていることの話をしたら、知らない方がたくさんいた。今はどのように宣伝されているのか。

(事務局)

毎年、観光情報誌から開花時期の問い合わせがあり、そこで情報提供をしています。

(委員1)

時々テレビで取り上げられるが、特に宣伝はしていない。

(委員3)

あんなきれいな景色はなかなかない。もう少し観光誘客に向けた宣伝をしたらいいと思う。

(委員4)

横丁さんぽ市を訪れたが、昨年と比べると店の数が少なく感じた。また、食べ物屋台がたくさんあったが、食べる場所がたりなかった。十分にはなかった。スタンプラリーの情報など、イベントPRが足りないのではないかと思う。しかも、社地区公民館祭りと同じ日だったので、地域イベントがなるべく重ならないように日程調整してほしい。

(事務局)

横丁さんぽ市は用瀬宿活性化委員会が主体で行っており、支所も協力しています。この事業はトットリ式屋台楽宴との共同開催であり、日程調整した結果、この日しかなかったと聞いております。また、同じ日にふれあい祭りパート2が開催されたのは同時開催により来場者が地域全体を回遊することで、より盛り上がる事業と出来ないかとの取り組みでした。

今年の出店は約60店舗と昨年の倍近い店舗数でした。地域の団体が主催のため、どうしても人手が足りない点があり、出店者にテントの準備をしてきてもらうなど、工夫しながら実施しております。PRについても、屋台楽宴のメンバーと協力しながらチラシを市内外や県外の施設や協力店などに送るなど取り組んでおられます。米子の喫茶店で見かけてこられたお客様もおられました。また、主催者とのつながりで遠く仙台からこられた方もありました。

支所としても、なるべく住民主体の長く続く事業となればという考えの上で、これからも地域の中で意見を出し合い協力しながら、取り組んでまいりたいと思います。

(委員2)

今回環境大学の皆さんと一緒に参加したが、周辺に他の出店が少なくお客が少なかった。出店の配置はどのように決めたのか。町を見せるといふ考えはとてもよいと思う。

(事務局)

事前に参加者への現地説明会を行い、希望を出してもらったと聞いております。今年は出店数も増え、出店場所も増えたため配置のバランスを取ることに苦労したとのこと。イベントの趣旨は、用瀬宿の脇道(横丁)を散歩してもらい、町の魅力を感じて楽しんでもら

うことであり、その点から配置を考えたものです。特に学生の皆さんは、地元では思いつかない場所に出店を希望される方もあり、我々地元の者も気づかされる点がありました。

(委員 5)

環境大学の出店場所は、当初ドローン体験を予定していたが中止となり残念だった。私も主催者側として参加していたが、昨年に比べて出店もかなり増え、地元の実行委員や若い方たちが本当によく頑張っていた。これからさらに地元の方々の協力をいただきながら進めなければ長く続かないと思う。ご支援いただければと思う。

(会長)

空き家対策について、危険な建物がある場合は行政としてどのように対応しているのか。

(事務局)

危険な建物については、まずは支所に相談いただければと思います。ご相談を受けて本課と協議しながら、所有者の方を探して連絡し具体的な対応を考えていきます。

(会長)

危険建物の処分について補助金等はあるのか。

(事務局)

危険家屋の処分に対する補助金制度があります。

(事務局 資料に基づき 5 ページ以降を説明)

(委員 4)

鷹狩地内で、市で地域外の若い方に農地を貸し出し、就農を進めているとの話を聞いたが、状況を教えてほしい。

(事務局)

農地中間管理事業としての取り組みの一つです。これは、新たに農地を求めている方から必要な広さや内容などの希望を聞き、農地を持っていても耕作が難しい方からいただいた農地情報とマッチングをする事業です。JAを窓口とするよう現在協議中ですが、まだ体制が確立していないため、今回は支所がつかんでいる情報でマッチングしたものです。

(委員 6)

その内容について、区長や実行組合長には話をしているのか。

(事務局)

JAでの会合の際にも説明のパンフレットを配り、自治会長会でも説明をしております。また、市報に掲載したり、農業者の方への啓発活動を行っております。

(委員 4)

就農する方がほかの場所に住むというのが、少し違和感があるが。

(事務局)

農地の中間管理事業では、必ずしも地域の方が農地を受ける場合ばかりではなく、例えば他地域の業者が参入したりといった場合も考えられます。

(委員 5)

特産品検討会は、どのような内容か。

(事務局)

今取り組んでおられる生産者 10 人ばかりに集まってもらい、2 回開催しましたが、具体的な詰めはまだ行われていません。

(委員 5)

児童生徒芸術交流事業はどのような予算対応か。

(事務局)

地域の文化振興につなげるため、地域活性化の予算の中で芸術交流事業として実施をしているものです。

(委員 5)

流しびな神社の絵馬掛けは、どのようなことを考えているのか。

(事務局)

流しびなの里として観光客を受け入れる内容として、以前あったものを修復するものです。以前のように物産館で絵馬等を販売するよう事業団と検討し、地域の活性化につながるよう取り組んでいきます。

(会長)

用瀬 P A の掲示板の整備はどのような内容か。地域情報も掲示することが出来るのか。

(事務局)

掲示板は国交省が今年度中に観光マップ看板の横に整備する予定です。

基本的には国交省の道路情報用の掲示板ですが、空いた部分は地域情報に利用してもよいとのこと。まだ協議中ですが支所を通して掲示の依頼となるのではと考えております。

(会長)

今ある観光マップ看板は地図が分かりにくいので、実際と地図の方向を合わせ、佐治も入れたものとしてほしいと要望をしている。

また、高速バス停留所については、面積を広げ地域で活用できるようにすることを市長にお願いしているが、どうなっているか。

(事務局)

停留所については、国交省と協議をしながら来年度予算に整備費用を計上するよう進めておりましたが、先日、国交省から道路用地内なので認められないと連絡があり、改めて協議が必要となっています。本課とともに今後協議を進めていくことになっております。

(2) その他

特になし

4 地域振興への意見・提言（委員発表）

岸本委員による発表

NPO法人十人十色による地域福祉の取り組みについて

山下委員による発表

民生委員をしての活動を通じた地域での取り組みについて

5 各課報告

事務局（資料などで説明）

地域振興課 行事予定、中核市移行シンポジウム、人権文化祭について説明

市民福祉課 健康広場について説明

産業建設課 用瀬地域バスについてのアンケート、熊への対応状況について説明

（委員1）

用瀬地区の地域づくり懇談会は地震で延期になったが、どのような予定か

（事務局）

来年1月26日に開催予定との連絡が本日ありました。

（委員5）

耐震整備については、地元説明後に改めて地域振興会議で検討するのか。

（事務局）

地元説明会で出た意見を報告させていただきますが、地域振興会議での検討は前回で意見集約したものと考えております。

6 次回日程について

開催予定日 1月20日（金） 13時30分

会場については、用瀬町総合支所を予定

7 閉 会